

最近の景気動向と企業経営に関するアンケート調査

一般社団法人岡山経済同友会

※ ご回答は、別紙記載の「回答方法」をご参考に、11月15日(金)までにインターネット上よりご回答ください。

I. 貴社について

【1】貴社の業種(主たる事業一つ)

製造業			非製造業	
1. 食料品・飲料	7. 鉄鋼	14. 建設業	20. 通信・情報サービス	
2. 繊維・衣服	8. 非鉄金属	15. 卸売業	21. マスコミ	
3. 紙・紙製品	9. 金属製品	16. 小売業	22. 飲食店・宿泊	
4. 石油・化学	10. 一般機械	17. 運輸・倉庫	23. 医療・福祉	
5. ゴム製品	11. 電気機械	18. 金融・保険	24. 教育、学習支援業	
6. 窯業・土石	12. 輸送用機械	19. 電気・ガス	25. その他サービス業	
	13. その他製造	26. その他		

【2】従業員数(全社：契約社員・パート・アルバイト等を含む)

- | | | | |
|--------------|----------------|------------|-------------|
| 1. 5人以下 | 2. 6人～20人 | 3. 21人～50人 | 4. 51人～100人 |
| 5. 101人～300人 | 6. 301人～1,000人 | 7. 1,000人超 | |

【3】直近の売上高(単独)

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 1. 1億円未満 | 2. 1億円以上10億円未満 | 3. 10億円以上30億円未満 |
| 4. 30億円以上50億円未満 | 5. 50億円以上100億円未満 | 6. 100億円以上300億円未満 |
| 7. 300億円以上 | | |

【4】海外との取引状況

(1)輸出取引

- | | | |
|-------|------------------|-------|
| 1. あり | 2. 輸出型メーカーに部品等納入 | 3. なし |
|-------|------------------|-------|

(2)輸入取引

- | | |
|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし |
|-------|-------|

【5】本社の所在地

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 岡山県 | 2. 広島県 | 3. 香川県 | 4. 兵庫県 | 5. 大阪府 |
| 6. 東京都 | 7. その他 | | | |

II. 貴社の業況や取り巻く環境変化について

【1】売上高と経常利益、人件費と従業員数の動向について

コロナウイルス感染拡大前の令和元年度上期の売上高・経常利益等をそれぞれ 100 とした場合、どの程度の水準で推移していますか。令和5年度上半期～令和6年度下半期の半期ごとに、おおよその数字を各欄に記入して下さい。

※(5)から(8)について、経常利益が赤字の場合は記入不要です。

	令和元年度		令和5年度		令和6年度	
	上期	下期	上期	下期	上期実績 見込み	下期 計画
売上高	100		(1)	(2)	(3)	(4)
経常利益	100		(5)	(6)	(7)	(8)
人件費	100		(9)	(10)	(11)	(12)
常用労働者	100		(13)	(14)	(15)	(16)
パートタイム 労働者	100		(17)	(18)	(19)	(20)

【2】資金繰りについて

貴社の資金繰りについておうかがいします。現在の貴社の資金繰りをどのように感じておられますか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んで、回答欄に記入してください。

①楽である ②やや楽である ③特に厳しくない ④やや厳しい ⑤厳しい

【3】為替レート水準について

(1) 年央に1ドル160円台をつけるなど、円安が進んだ近時の為替レート水準は、貴社の収益にどの程度影響していますか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んで、回答欄に記入してください。

①悪影響がある ②やや悪影響がある ③ほとんど影響はない
④やや好影響がある ⑤好影響がある

(2) 輸出取引または輸入取引のある企業におうかがいします。採算のとれる円／ドル相場は何円以上（以下）からですか。それぞれ金額を回答欄に記入し、以上/以下のいずれかに○印をしてください。

【4】賃金について

(1) 一人当たりの冬季賞与の前年比増減についてどのようにお考えですか。最もあてはまるものを 1 つだけ選んで、回答欄に記入してください。

①20%以上増加を検討 ②15%以上～20%未満増加を検討
③10%以上～15%未満増加を検討 ④5%以上～10%未満増加を検討
⑤0～5%未満増加を検討 ⑥前年並み
⑦0～5%未満減少を検討 ⑧5%以上～10%未満減少を検討
⑨10%以上～20%未満減少を検討 ⑩20%以上減少を検討
⑪わからない、特に考えていない

(2) 賃金改定について、ベースアップや定期昇給について今年度の実施状況と、来年度のお考えについてお尋ねします。最もあてはまるものを 1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①ベースアップと定期昇給を実施・検討（一部社員限定含む。以下同じ）
- ②ベースアップを実施・検討（定期昇給は見送り）
- ③定期昇給を実施・検討（ベースアップは見送り）
- ④ベースアップ、定期昇給ともに見送りを検討
- ⑤年俸制のため社員一律のベースアップ、定期昇給は無関係
- ⑥わからない、特に考えていない

(3) (2)で①または②と回答した方にお尋ねします。ベースアップの上昇幅について、最もあてはまるものを 1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①0%超～1%未満増加 ②1%以上～2%未満増加
- ③2%以上～3%未満増加 ④3%以上～5%未満増加
- ⑤5%以上～10%未満増加 ⑥10%以上増加

【5】物価について

(1) 貴社では物価上昇の影響を受けていますか。最も当てはまるものを 1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①大きなマイナスの影響がある ②一定程度マイナスの影響がある
- ③わずかだがマイナスの影響がある ④影響はない
- ⑤プラスの影響がある ⑥わからない

(2) (1)で①～③と回答した（マイナスの影響がある）方にお尋ねします。具体的にどのような影響が出ていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ①仕入コスト（原材料、商品など）の上昇 ②仕入困難・在庫不足
- ③経費の上昇（燃料費、外注費、光熱費など） ④取引先からの値上げ要請
- ⑤利益率の低下 ⑥資金繰りの悪化
- ⑦売上減少（物価上昇分を製商品・サービスに転嫁したことによる）
- ⑧その他（ ）

(3) 貴社の主力製品・サービスを製造・販売するための「平均仕入価格」、主力製品・サービスの「平均販売価格」が1年前と比べ、現時点でどの程度下落、もしくは上昇していますか。また現時点と比べ、1年後はどの程度下落、もしくは上昇するか、どのようにお考えですか。最も当てはまるものを それぞれ1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

※以下の表記は〇〇%以上～〇〇%未満と考えてください。

- ①10%以上 ②8%～10% ③6%～8% ④4%～6% ⑤2%～4%
- ⑥0%～2% ⑦▲2%～0% ⑧▲4%～▲2% ⑨▲6%～▲4% ⑩▲8%～▲6%
- ⑪▲10%～▲8% ⑫▲10%未満 ⑬変わらない

【6】人手について

貴社の人手の充足感について、最もあてはまるものを 1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①全体的に人手不足である ②一部業務で人手不足である ③過不足はない
- ④どちらかといえば過剰である ⑤人手は余っている

【7】カーボンニュートラルについて

(1) 貴社ではカーボンニュートラルへの取り組みを行っていますか。最もあてはまるものを1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①既に取り組みを始めている ②これから取り組む予定である
③現状では特に取り組む予定はない

(2) (1)で①②と回答した方にお尋ねします。カーボンニュートラルに取り組む理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ①環境規制など法令遵守 ②取引先などからの要請 ③電気料金などコスト削減
④将来に向けたリスク軽減 ⑤SDGs や ESG への対応 ⑥ビジネスチャンスの拡大
⑦企業イメージの向上 ⑧その他 () ⑨特にない

(3) (1)で①②と回答した方にお尋ねします。具体的にどのような取り組みを行って（予定して）いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ①再生可能エネルギー設備の設置 ②省エネ（自社エネルギー消費量削減）
③移動の見直し（電気自動車の導入、公共交通機関の推進、テレワーク・在宅勤務導入など）
④物流の見直し（モーダルシフト、共同配送など）
⑤環境に配慮した設備や原材料の選定 ⑥環境に配慮した商品やサービスの開発
⑦廃棄物の削減・リサイクル ⑧敷地の緑化など環境保全活動
⑨その他 ()

【8】生成 AI の利活用

(1) 貴社では生成 AI（ChatGPT や Bard など）を業務に活用していますか。最もあてはまるものを1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①無条件で活用している ②一定のルールを定めた上で活用している ③検討している
④活用していない⑤その他 ()

(2) (1)で①～③と回答した（活用している、検討している）方にお尋ねします。生成 AI を業務で活用する目的は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ①業務の効率化・省力化 ②イノベーションの促進 ③新たな視点の発見
④外注費などのコスト削減 ⑤試験的に活用している ⑥他社が活用しているから
⑦特にない ⑧その他 ()

(3) (1)で④と回答した（活用していない）方にお尋ねします。生成 AI を業務活用しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ①情報の正確性に欠けるから ②情報漏洩のリスクがあるから
③どのように活用できるか思いつかないから ④社員の思考能力が低下するから
⑤法整備が進んでいないから ⑥運用方針を整理できない
⑦これまでの文化・慣習などを破壊しかねない ⑧特にない
⑨その他 ()

III. 景気と経済財政政策について

【1】景気の現状と見通しについて

(1) 貴社では景気の現状をどのように思われますか。最もあてはまるものを1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①拡大している ②回復している ③回復に向けた動きがみられる
④持ち直している ⑤横ばいである ⑥減速している ⑦悪化している

(2) 貴社では今後1年程度の景気のシナリオをどのように予測されますか。最もあてはまるものを1つだけ選んで、回答欄に記入してください。

- ①回復軌道に復し、回復が続く ②回復軌道に復するも、足踏みする
③足踏みする ④減速する ⑤悪化する

(3) そのように判断する理由は何ですか。3つ以内で選んで回答欄に記入してください。

- ①個人消費の動向 ②住宅投資の動向 ③設備投資の動向 ④公共投資の動向 ⑤輸出の動向
⑥在庫調整の動向 ⑦企業収益の動向 ⑧雇用情勢の動向 ⑨物価の動向 ⑩米国経済の動向
⑪欧州経済の動向 ⑫中国経済の動向 ⑬株価の動向 ⑭為替相場の動向 ⑮経済対策の動向
⑯その他 () ⑰わからない、特になし

【2】日本銀行の政策金利引上げについて

日本銀行は今年3月の金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除やイールドカーブ・コントロールの撤廃などを決定しました。また、7月の同会合では政策金利を0.25%程度に引上げる追加利上げを決めています。引き続き緩和的な方針を続けるとされているものの、今後は金利のある社会・経済活動に戻ることが予測されます。金利ある社会・経済への転換に伴う貴社への影響はどのようなものですか。また、金利ある社会・経済活動に戻ることがどのようにお考えですか。もっともあてはまるものを＜自社への影響＞＜金利ある社会・経済活動＞のそれぞれで回答欄に記入してください。

＜自社への影響＞

- ①プラスの影響の方が大きい ②プラスの影響の方がやや大きい ③どちらともいえない
④マイナスの影響の方がやや大きい ⑤マイナスの影響の方が大きい ⑥その他 ()

＜金利ある社会・経済活動＞

- ①望ましい ②どちらかという望ましい ③どちらともいえない
④どちらかという望ましくない ⑤望ましくない ⑥その他 ()

【3】国、地方公共団体に対する要望事項

国にどのような施策に優先的に取り組んでほしいですか。次の中から最も当てはまるものを5つ選んで、優先順位の高い順にご記入下さい。

- ①円安への対応 ②デジタル化、DX対応支援
③電力の安定供給 ④再生可能エネルギーへの転換促進
⑤医療・福祉、農業などの規制改革 ⑥財政健全化の実行
⑦法人税の減税 ⑧研究開発の支援
⑨TPPなど貿易自由化推進 ⑩社会保障の改革の推進
⑪設備投資の優遇策 ⑫物価高対策
⑬企業再生、事業承継の円滑化支援 ⑭安全保障対策の推進
⑮防災・減災対策の強化 ⑯金利上昇への対応
⑰その他 ()

優先順位	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番
選択番号					

～ご協力ありがとうございました～